

特別 第1 分科会

情報化社会とPTA ～情報化の光と影～

基調講演・パネリスト—総務省東海総合通信局情報通信部長／吉田正彦氏
コーディネーター—愛知県東海市教育委員会副教育長／藤原一成氏
パネリスト—愛知県立蒲郡高等学校教頭／梶村章嘉氏
愛知県警察本部生活安全部生活安全監護センター長／高野真理氏
愛知県立豊橋商業高等学校PTA会長／河口富久氏

今や高校生の携帯電話の所持や、インターネットの利用が当たり前の時代となった。これらは若者にとって大切な情報ツールであると同時に、トラブルに巻き込まれる原因にもなっている。若者が巻き込まれるトラブルや、トラブルに悩みながらも相談できないでいる実態を踏まえ、「使わせない」のではなく「安心・安全に使わせる」ために、危険を充分認識し回避するための指導を学校・家庭・地域・行政が連携して一層充実させていくことが重要である。

また、子どもたちが親に相談しやすいように、家庭での親子の絆（コミュニケーション）が大切であるとの報告があった。その後、パネリストがそれぞれの立場で経験に基づいた意見を述べ議論を深めた。



特別 第2 分科会

防災活動とPTA

～大規模災害に備えたネットワークづくり～

基調講演・コーディネーター—名古屋大学大学院環境学研究科教授／福和伸夫氏
パネリスト—北海道大学大学院地球環境科学研究院教授／平川一臣氏
兵庫県立舞子高等学校環境防災科科長・教諭／諏訪清二氏
愛知県立宝陵高等学校PTA会長／池田信子氏
愛知県立豊橋東高等学校3年生／岡田智八さん

東海地震の危険が叫ばれ、各地で地震が頻発している現在、防災教育の充実が喫緊の課題となっている。今までの災害から得た反省を伝え、災害に負けない「生きの力」を子どもたちに授けることが大切である。中央教育審議会の答申にある、自ら主体的に考えて行動し、問題を解決していく力。他人を想いや協同していく豊かな人間性は、まさしく大地震を前にした子どもたちが獲得しておくべき力である。後半のパネルディスカッションでは、専門家を交えながら防災教育のあるべき姿をさぐるとともに、地元の防災活動に参加した高校生から、防災活動の実態や生徒・教師の防災意識のアンケート調査に基づいた発表を聞き、日ごろの防災活動について研究協議した。



特別 第3 分科会

世界の親子の絆意識

～国際化時代の中で、他の親子の絆を考え、日本における絆を見直そう～

基調講演・コーディネーター—アメリカ合衆国州連合公式通訳／小寺裕子氏
パネリスト—学校法人名古屋国際学園沙外開発室長／エリック オルソンキチ氏
国際協力センターベトナム研修監理員／植口ホア氏
国際協力センターアフガニスタン研修監理員／アマディヤール治春氏

今、時代は世界の独自の文化や生き方を相互に尊重する多文化共生社会に変化しつつある。今後、青少年が国際社会の一員として活動するためには、自国の文化理解を深めると同時に世界の異文化理解が重要となる。

小寺氏はどの国も核家族化が進み、似たような悩みを抱えながら子育てをしていることや、日本と他の国の子育ての違いを述べ、ふれあいを大切に親子の絆を深めていきたいと提言した。その後のパネルディスカッションでは、各国の子育てについての発表があり、世界の親子の絆意識についての意見が交わされ、自立した人間に育てるために、親子の絆を深めることが、大切だと話し合われた。



アトラクション紹介

愛知県立旭丘高等学校 管弦楽団



名古屋市立桜丘高等学校 ファッションショー



高校生による元気な発表とロボットASKAの展示・実演

愛知県立名古屋南高等学校 吹奏楽部

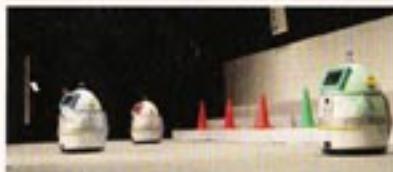


愛知県立一宮高等学校 ファッションショー



名古屋工業大学梅崎研究室

認知情報処理能力ロボットASKA



愛知県立古知野高等学校 ファッションショー



「高P連全国大会」

■59回 全国高等学校PTA連合会大会

沖縄大会

■開催日時

平成21年8月26日(水)～28日(金)の3日間
26日：大会運営会議等、歓迎レセプション
27日：開会式、表彰式、文部科学省からの講話等
28日：分科会、記念講演、閉会式等

■場 所

主全体会場：沖縄コンベンション展示棟
分科会場(7会場)：
沖縄コンベンション展示棟、沖縄コンベンション劇場棟
宜野湾市立体育馆、沖縄市民会館、宜野湾市民会館、
浦添市てだこ大ホール、県立武道館アリーナ棟

■テー マ

メインテーマ：「拓くたくましさ つなぐ優しさ 繋ごう親子の絆」

ユイメール チューチムラクル

サブテーマ：「絆の精神で育む 青少年の美ら肝心」

来年は「沖縄」でお待ちしております。

